

授業科目名	看護理論講読	担当教員	教授 福間 美紀 他		
開講年次及び学期	4年後期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	15	単位数	1
<b>授業の目的（概要）</b>					
<p>看護理論は看護の現象を記述し、説明することで看護援助の方向性を見出すために活用される。看護理論を活用することで患者の理解が深まり、よりよい援助につながり、看護の質を向上させる目的がある。</p> <p>この科目では、これまでの授業で取り上げていない看護の新しい考え方やケア方法について、オムニバス形式で講義します。</p> <p>授業や実習で学んだことや疑問に思ったことをふまえながら、新たな知見を得たり看護を再考することによって、これからの看護の方向性について展望します。</p>					
<b>学修成果（到達目標）</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の理論と実践の関連性、および理論の意義と課題について説明できる。</li> <li>2. 近年話題になっている看護の新しい考え方、理論、ケア方法について理解する。</li> <li>3. これまでに学んだことや疑問に思ったことをふまえて看護について再考し、自分自身が将来めざす看護の方向性について自分の考えを述べることができる。</li> </ol>					
<b>キーワード</b>					
看護理論、看護実践、リフレクション					
<b>授業の進め方</b>					
オンデマンド講義、ライブ（teams）					
<b>成績評価の方法（合否基準）</b>					
リフレクションシート、授業の参加度（意見交換）とレポートの総得点を100点満点に換算したうち60点以上を合格とする。					
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>					
授業中に資料を配布する					
<b>オフィスアワー</b>					
福間美紀（基礎看護学講座） 質問等は随時受け付けますのでメールにてアポイントをとること Email: mk8592@med.shimane-u.ac.jp					
<b>モデル・コア・カリキュラムとの関連</b>					
A-9 生涯にわたって研鑽し続ける姿勢 A-9-1) 自己研鑽の必要性と方法 C-1 看護学に基づいた基本的な考え方 C-1-1) 看護の本質 C-1-2) ケア概念とケアにおける看護学との関連 C-1-3) 看護の観点から捉える人間					

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	テーマ	授業内容	担当者
1	10月1日	14:55~ 16:35	第4実習室	オンデマンド	ガイダンス	看護理論の活用 看護実践の課題解決のために 臨地実習の振り返り	福間
2	10月8日	〃	〃	オンデマンド	看護に活用できる中範囲理論	バンデューラの自己効力感 看護実践への活用	宮本
3	10月22日	〃	〃	オンデマンド	認知症のケア	パーソンセンタードケア 看護実践への活用	加藤
4	10月29日	〃	〃	オンデマンド	行動変容・行動強化のケア	保健信念モデル 看護実践への活用	榊原
5	11月12日	〃	〃	オンデマンド	ケアリング	ワトソンのヒューマンケア 看護実践への活用	福間
6	11月19日	〃	〃	teams (ライブ)	事例分析	臨地実習で課題の残った事例の分析-看護理論を用いて (学生によるプレゼンテーション)	福間
7	12月3日	〃	〃	オンデマンド	まとめ	自らの看護実践を豊かにするための理論活用のしかた	福間

備考